

自ら学び、共に伸びる

令和7年度が始まりました。本年度も学校教育目標は「自ら学び、共に伸びる」です。昨年度この目標に変え、ずいぶん学校全体に浸透してきたように思います。

府中小学校の子供たち(府小っ子)は、明るく素直で、前向きに頑張る子が多いです。また、学校まるごと図書館という環境を生かしながら、たくさん本を読み、感じたことや考えたことを言葉で表現する力も育っています。縦割り活動もさかんで、異年齢で相談したり教えあったりしながら、一緒に掃除をしたり行事をしたりしています。

そんな府小っ子たちが私は大好きで、この子達の未来が輝くようにと願っています。

その一方で、私たち大人は、目の前の子供のことを思って一生懸命です。時には、失敗させたくない、傷つけたくないという思いから、先回りして障害となるものを排除したくなることもあります。でも、本当にそれでいいのでしょうか。

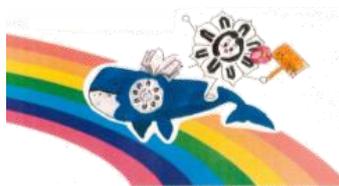
学校は一つの社会です。その中で、小さい時から人と関わりながら楽しんだり、一緒に悩んだり、頑張ってやり遂げた達成感を味わったりすること、時にはけんかをしたり、失敗したりながら、次はどうすればいいか学び、失敗を乗り越えていく経験はとても大事なことであり、将来に生きる根っことなる力だと私は思います。その力をつけたいという願いがこの「自ら学び、共に伸びる」という学校教育目標です。

本年度も4月8日の始業式の時、子供たちに改めて学校教育目標にこめた思いを次のように伝えました。

『自ら学ぶ』学ぶのは「自分」です。学校は、勉強をするところです。得意なこと、苦手なことは人それぞれ違って当然です。でも、どんな勉強も、誰かが代わりにしてくれることはありません。先生から、友達から、地域の方から、ぜひしっかり自分で学んでください。また、自分からも「～たい」をたくさん見つけましょう。

『共に伸びる』学校には、同級生、上級生、下級生などいろいろな人がいます。周りの人と関わりながら勉強することで、自分とは違う意見を受け入れたり、一人だけでは気づけなかったことに気付いたり、新しい考えが生まれたりします。学級で、学年で、縦割り活動で、人と関わり合いながら、周りの人と一緒に、伸びていきましょう。

また、子供たちだけでなく、私たち教職員も、自ら学び、共に高まりあいながら、子供たちの成長のため、チーム一丸となって取り組みます。



この学校教育目標の実現に向け、本年度も、学校と家庭、地域が手を携えて府小っ子たちを育てていけますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。